

平成26年度識字合同学習会（第13回ふれあい広場）報告書

- | | | |
|---|--------|---|
| 1 | 日時及び会場 | 平成26年12月13日（土）13:30～16:00 明日香村立中央公民館 |
| 2 | 参加者 | 市町村識字学級生、市町村識字学級指導者、中学校夜間学級生、中学校夜間学級教員、市町村職員、県職員、学校教職員、社会教育関係団体指導者、県民等 計 136名 |
| 3 | 日程 | 13:30～13:45 オープニング
13:45～13:55 開会あいさつ
13:55～14:20 識字学級等の取組紹介
14:20～14:45 識字学級生等による作文発表
14:45～15:05 展示作品の鑑賞
15:05～15:25 落語
15:25～15:55 和太鼓演奏
15:55～16:00 閉会行事 |



4 内 容

(1) 舞台発表

○ オープニング

琴名流琴扇修会の明日香・田原本教室の生徒さんによる演奏により、「川の流れるように」「せんせい」「ふるさと」を会場全体で合唱し、和やかな雰囲気でのオープニングとなった。

○ 識字学級等の取組紹介（プレゼンテーション）

大和郡山市西田中町識字学級、奈良市横井識字学級、川西町いきがいセミナーのぞみ学級・やわらぎ学級、大淀町立桜ヶ丘識字学級、奈良市立春日中学校夜間学級、天理市立北中学校夜間学級の具体的な活動内容が紹介された。本年度も、ナレーションを担当した学級生から、識字への思いや学ぶことの喜び等を一字一字丁寧に伝えていただいた。

○ 識字学級生等による作文発表

大和郡山市西田中町識字学級生2名と天理市立北中学校夜間学級生1名が、それぞれ「識字学級について」「主人亡き識字学級にはげまされ」「えんぴつを持たなかった手」と題して、自分の思いを綴った作文を発表した。識字活動は、単に文字の読み書きを勉強するだけでなく、人の生き方を変える力をもつ活動であることを確かめ合った。

○ 落語（六斎亭空念仏、飛鳥亭みやび）、和太鼓演奏（鼓城、飛鳥太鼓）

会場が幾度となく笑いに包まれた落語では、巧みな言葉使いと豊かな表現力から改めて言葉の大切さを共有することができた。また、和太鼓演奏では、それぞれのもちあじが発揮され、それが一つになった迫力ある演奏のすばらしさに参加者一同が大いに感動した。



[オープニング演奏]



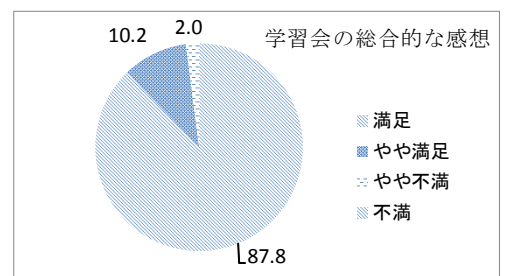
[作文発表]



[和太鼓演奏]

(2) 作品展示

学級生の様々な作品を会場ロビーに展示し、各識字学級等の取組や学級生が一生懸命に取り組んできた学習の成果等を伝え合う場となった。



5 参加者の感想

- ・ 識字学級という言葉は知っていましたが、今日のような活動をしておられるということは知りませんでした。発表者の皆様も生き生きしておられ、作品も立派でした。
- ・ 私は、徳島県の識字学級でおばあちゃんたちとともに学んでいます。今日はいいい勉強ができました。特に識字学級生の作文発表が一番良かったです。皆思いは同じだということがわかりました。